

大谷小中学校だより

NO.8

令和7年11月25日
珠洲市立大谷小中学校

文化祭を終えて

校長 鎌田 香

岩に碎ける波しうきにも、赤や黄色に色づく葉にも、秋の深まりを感じる今日この頃です。空気は澄み渡っていますが、ひんやりとした寒さを感じます。自然の美しさや厳しさを肌で感じることができます。

さて、11月8日には、大谷小中学校文化祭を開催しました。文化祭当日の朝の事です。いつも学校の校門前の道路の花壇をきれいにしてくださっているおばあさんが来られ「今日は、本当にうれしい。ありがとう。」と何度も言われました。毎朝、交通指導のために信号機のところに立っていると「じっと立っていると寒いやろう。ご苦労さんやね。」と声をかけてくださるおばあさんが「今日は、楽しみにしてきたわ。」と笑顔で来られました。地域でよくお見掛けする方々が笑顔で学校に来られる姿を見て、じんわり心が温かくなり、こちらの方があがたさに頭の下がる思いでした。

文化祭は、4人の生徒が皆、躍動し、大いに盛り上りました。「当日、文化祭がうまくいくのか、人は来るのかなど、とても不安だったが、スローガン通りみんなを盛り上げることができ、僕たちが最強だということを証明できたと思う。」「特にバンドが心配でしたが、4人そして地域の方々も心を一つにして頑張ることができました。今年もまたまた、最高の文化祭でした。」「バンドが一番不安だったけれど、観客の掛け声などを聞いて、ノリノリで演奏できた。特に学園天国は、観客の人も歌ったりで、過去一番盛り上がったな、会場全体が一体になったと思った。」「祭囃子は、去年に比べて演奏する人が少なかった分、一人一人の演奏に迫力があって、とても盛り上がったと思う。これは地域の方々が盛り上げてくれたおかげであるなと思う。また、笑顔は人を元気してくれるものだということを改めて感じさせてくれる文化祭だった。」という生徒の振り返りからも、達成感を味わうことができる文化祭だったことがわかります。また、会場全体が一体となった文化祭だったということも生徒にとって印象的だったのだということもわかります。

では、地域の方から、文化祭の講評にお褒めの言葉をいただいたので、以下紹介させていただきます。

知的感動を分かち合う、すばらしい文化祭でした。4人の文化祭ということで、早い時期から計画を立てて準備を進め、みんなで協力して作り上げた成果が大いに発揮されました。自分たちの思いを形にするために、4人という少人数であるという困難を乗り越えて、実現したバンド演奏は、充実感を得ることができたのではないかでしょうか。

今日の文化祭では「文化とは他者への思いやりと優しさである」ということを実感しました。朝、体育館に入ったとき、ご観覧いただく皆様に楽しい時間を提供したいという皆さんの思いが充满していました。ステージで躍動したバンド演奏にも、日頃の成果を披露する総合的な学習の発表とスピーチフェスティバルにも、展示や発表にも、バンド演奏を行っていただいた保護者の皆様にも、共通するのは観に来ていただく皆様に楽しんでいただきたい、皆様とともに盛り上がりたいという、他者への思いです。文化とは創造し、制作する過程を自らが楽しむものもあるでしょうが、一方では、「文化とは他者への思いやりや優しさ」ではないか、と思った文化祭でした。

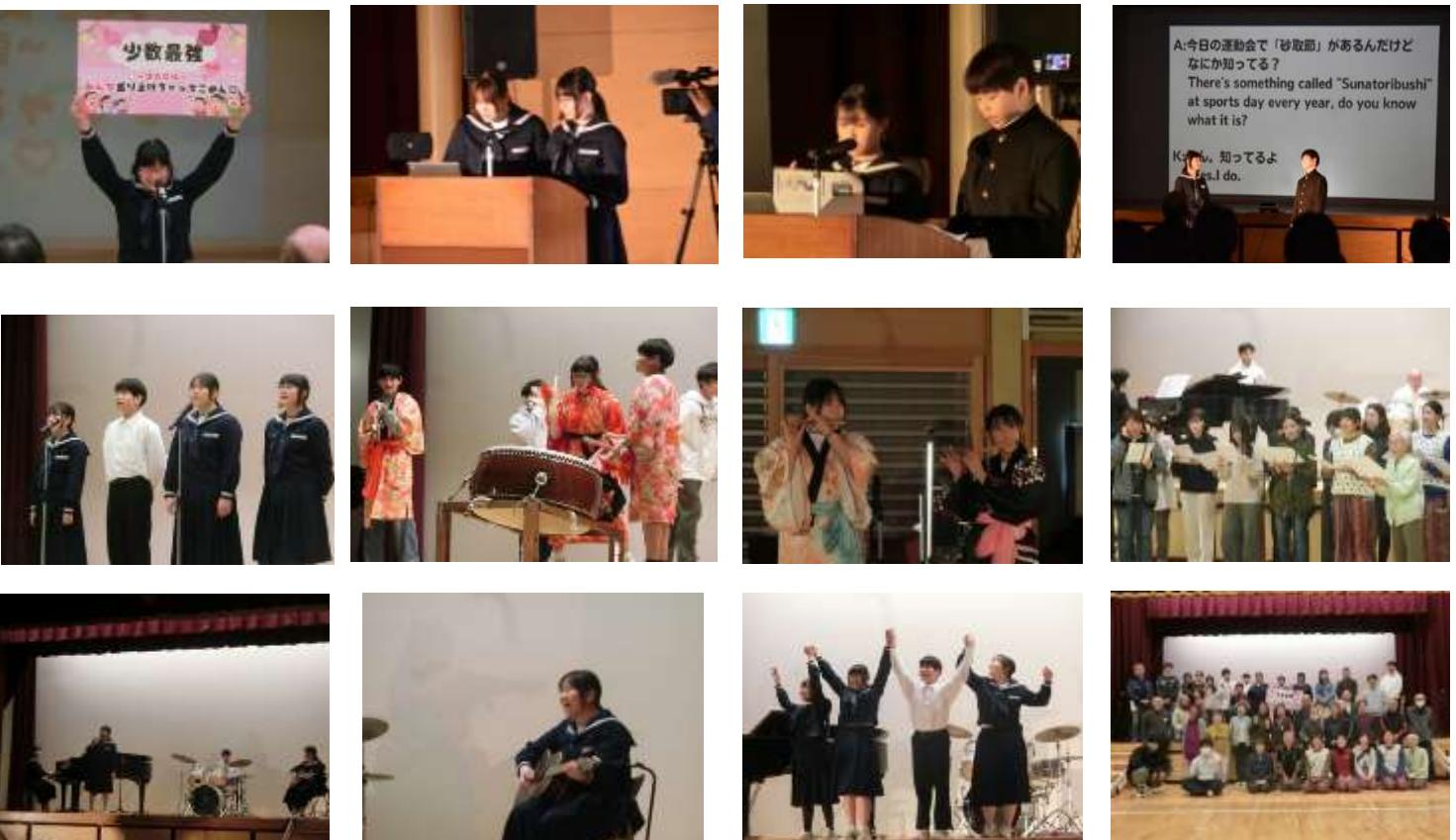
たくさんの笑顔があふれた、「少数最強～文化祭編～みんな盛り上げちゃってごめん」のスローガンにふさわしい文化祭でした。生徒のみなさん、ありがとうございました。そして、お疲れさまでした

来賓の皆様、地域の皆様、ご来校いただき、ありがとうございました。保護者の皆様、ご協力いただきありがとうございました。これからも大谷小中学校へのご支援ご協力をお願いいたします。

■ 第10回文化祭 11月8日(土)

大谷小中学校第10回文化祭が開催されました。スローガンは「少数最強～みんな盛り上げちゃってごめん～」です。これは、生徒会のスローガン「少数最強」と文化祭で盛り上げてしまって、終わったらさみしくなるかもしれないけど、ごめんね。という意味だそうです。総合的な学習の発表、英語のスピーチ、歌とボディパーカッションの発表など、4人で練習の成果を発揮することができました。祭囃子では、転校した児童生徒も一緒に演奏することができました。バンド演奏はものすごく盛り上りました。「少数最強～みんな盛り上げちゃってごめん～」を達成することができました。

今年もこの文化祭の様子が、能越ケーブルネットにて1週間にわたって紹介されました。「素晴らしい雰囲気の文化祭でしたね！」と他の町の方からもうれしいお言葉をいただきました。



12月 行事予定

1	月	街頭指導 安全点検	11	木		21	日	
2	火	8年生県評議問題	12	金		22	月	三者面談・通知表渡し (15:30~16:30)
3	水	期末テスト PTAスポーツイベント (午後)	13	土		23	火	
4	木	期末テスト 市子ども美術展 (~10日)	14	日		24	水	終業式
5	金		15	月	街頭指導	25	木	冬季休業 (~1月7日)
6	土		16	火		26	金	御用納め
7	日		17	水	生徒会	27	土	
8	月		18	木	集会	28	日	
9	火		19	金	スペリングコンテスト	29	月	
10	水	職員会議	20	土		30	火	
						31	水	

■ 授業参観と学校運営協議会 10月25日(土)

学校運営協議会の委員の方々に授業を参観していただき、生徒も一緒に学校運営協議会の熟議を行いました。学校公開等もあるのですが、なかなか日頃、地域の方々が授業を参観する事がないので大変良い機会となりました。学校運営協議会の熟議には、兵庫教育大学 澤野教授を招聘しました。それぞれの立場の方の考え方を聞くことで、生徒の視野が広がりました。



■ 調理実習 10月31日(金)

7年生は後期課程になって初めての調理実習を行いました。2人で協力して「肉じゃが」を作りました。学習したことを生かし、手際よく作ることができました。完成した肉じゃがは、見本の写真のようにおいしそうに出来上りました。香りもよく、食欲をそそりました。味も素材の味を生かした、優しい味付けでした。大変おいしい肉じゃがでした。7年生2人も大満足でした。



■ 金沢ポートさんによる卓球教室 11月4日(火)

プロ卓球チームの金沢ポートさんから、2名の方をお迎えし、卓球教室を行いました。4名の生徒は、マンツーマンでフォアの打ち方、バックの打ち方などを教えてもらいました。また、フットワークの練習の方法やサーブの時のラケットの持ち方など細かいところまで詳しく学びました。生徒からは「直接教えてもらい、手の角度や足の動きなど、とても分かりやすかったです。バックの打ち方を教えてもらった通りにすると、めちゃくちゃ打ちやすかったです。」「教えてもらって、できなかったことができるようになりました」という感想が聞かれました。



■ 給食試食会・授業参観・情報モラル講演会・PTA合唱練習 11月6日(木)

保護者の方に来校していただき、給食試食会・授業参観・情報モラル講演会を行いました。給食試食会では、あたたかい雰囲気の中、給食を味わいました。メニューは、白ごはん、鮭のみぞ焼き、小松菜と珠洲産大豆のごま和え、野菜と珠洲産干しいたけの味噌汁、そしてゼリーでした。とてもおいしかったですね。その後、飯田共同調理場の森岡栄養教諭から学校給食に関する講話をいただきました。細やかな配慮の下で給食が作られていることを知ることができました。



授業参観では、保護者の方に感想をいただく場面もあり、普段とは少し違う授業を行うことができました。情報モラル講演会では、奥能登教育事務所の梶指導主事に来校していただき、インターネットを安全に使うための具体的な注意点についてお話しいただきました。その後、文化祭が近いということで PTA 合唱の練習も行いました。4つの行事を1日で行いました。お忙しい中のご参加、どうもありがとうございました。

■ パラアスリートの方に学びました 11月13日(木)

アスリート派遣等による体育授業等の充実・高度化の促進事業が開催され、パラアスリートの池田樹生さんに、多様性についてのお話を伺いました。義足や義手などを見せていただき、「池田さんと自分たちの違いとは何か」を考えることを通して、相手のことを考えることの大切さを学びました。また、実技では、一緒に体を動かして楽しみました。最後に、池田さんと4名の生徒で走り競争をしましたが、池田さんの素晴らしい走りに感動しました。大谷小中学校の生徒にとって、大変貴重な時間となりました。池田さん、多くのことを学ばせていただき、本当にありがとうございました。



■ 黒米おはぎについてのお話を聞きました 11月14日(金)



まちの先生に来校していただき、黒米のおはぎについてお話を伺いました。「なぜ、黒米のおはぎを大谷の方々が作ろうと思ったのか。」など黒米にまつわるお話を伺うことができました。また、道具を使って丁寧に黒米のおはぎの作り方を教えていただきました。

■ 仮設グラウンドでの「だるさんが〇〇した」 11月14日(金)

今日はスポーツデイでした。お天気が良かったので、先日完成した仮設グラウンドで「だるさんが〇〇した」をみんなで楽しみました。外のグラウンドで思い切り体を動かすのは、とても気持ちが良かったです。仮設グラウンドを作ってくださった珠洲市教育委員会様、ありがとうございました。



■ 高齢者体験 11月17日(月)

高齢者体験を行いました。手足の動き、指の動き、聴力、視力など様々な面で若い人にはなかなかわからない違いを様々な器具を用いて実体験しました。このような授業をすることによって、お年寄りへの理解が深まり、心遣いがさらにできるようになるのではないかと思います。貴重な機会となりました。



■ 舞台芸術等支援事業 11月17日(月)



画像情報教育振興協会より2名の講師をお迎えして、「タブレット端末を使ってクリエーターになろう!」というテーマの授業を行わせていただきました。iPad を用いて、プロの音楽業界でも用いられているアプリを使い、共通の和音進行の中で様々な楽器の音色を使って独自のメロディを創り上げていました。個性が出てすごくおもしろかったです。音楽に対する興味が一層高まった機会になりました。ありがとうございました。